

編集後記

本号でもいつものように多方面からの論文が掲載されそれぞれに教えられるところがあるが、一番目を引くのは、なんといっても DSM-5 をめぐる Allen Frances 先生への大野裕先生のインタビューではないだろうか。本インタビューは Frances 先生の来日に合わせて急遽本誌のために行われたもので、この場をお借りして、快くお引き受けくださった Frances 先生とご尽力いただいた大野先生に感謝申し上げます。

本インタビューを企画した目的は、日本における DSM-5 の無批判な受容への警鐘である。わが国の精神医学界はずっと“舶来品”に弱く(国際標準化といえど聞こえはよいが)、昨年来、本誌を含め複数の雑誌でいち早く DSM 改定の動きや DSM-5 の紹介が組まれてきたが、果たして読者、特に若い読者は Frances 先生の批判や懸念をどのようにお読みになるだろうか。DSM-5 を咀嚼し自分の身にしていく際に、このインタビューで指摘されている“痛いところ”が、喉に刺さった魚の小骨のように自覚や反省を喚起するとしたら、編集者の意図は外れてはいない。

今年の 5 月に入り、ICD-11 と DSM-5 の決定に向けた案が相次いで公表された。ICD ではまだ不明確で未決部分も多いが、DSM は全容が窺える。日本では ICD は行政上活用されるのでその面での影響はあるが、我々により関心が強いのは DSM であろう。約 30 年前に操作的診断による DSM-III が公表された際には、ドイツ流の症状把握や分類、記述精神医学に馴染んできた日本ではなかなか普及しないのではないかともしわれたが、瞬く間に DSM 一色に染まり、それまでのものは「伝統的」と古色蒼然としたもののようにいわれるまでになってしまった。今回の改定では両案とも、気分障害という括りのカテゴリーは消え、神経症やシュナイダーの一級症状のような歴史的用語や概念も化石になってしまった。米国での事情は Frances 先生が述べているが、日本では伝統に疎い精神科医が「今はこうなんだ」と言わんばかりに、DSM の診断基準を杓子定規に当てはめたり、概念を拡大解釈したり、針小棒大に口にしたりで、その結果、我々のまわりは「アスペルガー」やら「発達障害」、そして「双極性障害」の人でいっぱいになってしまった。少し前までは「パーソナリティ障害」や「PTSD」で溢れていた。

今回の改定を機に、改めて「伝統的」なものを振り返り(まさに本誌シリーズ『継往開来』の姿勢)、そして Frances 先生の苦言を噛みしめてみることは大切なことではないだろうか。人の精神行動はいかようにも解釈でき、“精神疾患”なるものは言葉によっていくらかでも作られうる。肝心なことは、そうした陥穽に嵌らず、「〇〇精神障害だ」と判断する前に、その人の疾病性と事例性にと頭を巡らせ、「事例にはなったが、そもそも病気なのか? 診断名を付けるに値するものなのか? 治療を要するものなのか?」などなど考える姿勢であろう。

「雲の形をいくらか分類してみたところで、雲の本質を知ったことにはならない」(L. ウィトゲンシュタイン)。
(M.I.)

■ 編集委員

朝田 隆

飯森真喜雄

井上 新平

小島 卓也

松本 英夫

松岡 洋夫

三國 雅彦

(ABC 順)

精神医学 (第 54 巻 第 8 号)

2012 年 8 月 15 日号 (毎月 1 回 15 日発行)

1 部定価 2,730 円 (本体 2,600 円 + 税 5 %)

〔2012 年 年間購読料 (税込, 送料弊社負担)〕

冊子版 30,600 円, 冊子 + 電子版 / 個人 35,600 円, 冊子 + 電子版 / 共有 40,200 円, 電子版 / 個人 30,600 円, 電子版 / 共有 35,200 円

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659・5660

振替口座 00170-9-96693

発行 株式会社 医学書院 代表者 金原優

☎ 113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 編集室直通 (03) 3817-5711

Fax (03) 3815-7802 (担当) 樋川・三由・山崎

E-mail seishinigaku@igaku-shoin.co.jp

URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/seishin/>

印刷所 三美印刷(株) 電話 (03) 3803-3131

広告申込 (株) ハイブリッジエージェンシー

電話 (03) 3814-0089

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan.

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・ 本誌を無断で複製する行為(コピー, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を無断で行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY (株) 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複写は著作権法上の例外を除き禁じられています。複写される場合は, そのつど事前に(株)出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3515-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。

・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。